

Key
Person



(有)サンテックス 代表取締役

小野 政樹

勤めていたおじの会社が倒産し、保証人として負債を背負うことになった小野社長。口座を差し押さえられ、一時は即席ラーメン二杯を家族4人で分けるほどだったという。だが社長は決して逆境に屈さず、社員や家族のために立ち上がり、前を向いて歩み出した。「仕事はある」と鼓舞してくれた方や、起業に際して資金援助してくれた方など、手を差し伸べてくれる人に支えられながら懸命に励み、社の基盤を見事安定させた今。「色々な人に助けられて今があると実感しています」と周囲への感謝を述べていた社長。「ご縁のあった人が大変な時は、迷わず手を差し伸べ、私ができることで力を尽くしたい」。周囲への感謝と恩義を念頭に、社長はそんな思いを日々の原動力に今日も精励している。

「色々な人に支えられて今があるので今後は、手を差し伸べる側として力を尽くし、誰かを支えたい」

周囲への感謝と恩義を念頭に歩み、 関わる人の一助になるべく日々励む



代表取締役 小野 政樹

大分県出身。親の仕事の関係で小さいころから全国各地を転々とする。医療器具メーカーでキャリアをスタートさせ、長く働いて幅広い経験を蓄積。その後、現在従事する建材加工の仕事に就き、数多の苦難を乗り越えながら現在に至った。

建材に関する加工業務全般をはじめ、免震装置用耐火被覆の加工・組立などを手掛ける『サンテックス』。建材や工業製品などの分野で存在感を放つ『㈱エーアンドエーマテリアル』から、免震装置の耐火被覆における加工を一手に引き受けている企業だ。本日は、そんな同社を俳優の村野武範氏が訪問。小野社長にお話を伺い、その半生に迫ると共に人物像に触れた。

唯一無二の技術力やノウハウを持ち 全国からの依頼に応える

—はじめに、『サンテックス』さんの業容からお聞かせ願えますか。

建材加工が事業内容となります。主に、免震装置用耐火被覆の加工などを行っており、たとえば多様な免震装置の一つにゴムの柱などがあるのですが、ゴムだけで成形すると火災が起きれば溶けてしまうでしょう。そうすると、建物が倒壊す

る恐れがありますので、そのリスクを少しでも低減するためにゴムの柱を耐火材で加工・補強するんです。

そうした免震装置用耐火被覆を、『㈱エーアンドエーマテリアル』が「護免火」という商品名で展開してしまてね。同社が全国の物件を受注し、加工依頼を当社のような会社に出すのですが、当社は社員9名という小さい会社ながら懇意にさせていただいております。全加工を当社1社にて行わせていただいております。

Column

「㈱エーアンドエーマテリアル」が展開している免震装置用耐火被覆「護免火」は、「免震材料を含む柱として国土交通大臣から3時間の耐火構造認定を受けているなど、その品質の高さと安全性は国のお墨付きである。その加工を一手に担い、人々の健康や安全を日々下支えしているのが、『サンテックス』だ。そんな同社は、顧客のニーズに合わせた建材の加工・塗装・組立から納品まで、トータルオーダーメイドの体制を整えている。迅速かつ多種多様な建材を扱っており、迅速かつ要望通りの仕上がりを実現する加工技術で、顧客の様々なニーズに対応できるのも特徴の一つだ。

そのような同社の高い技術力と、事業の推進力の核となっているのが、9名の社員たちだ。「少数精鋭」その言葉のように皆で力を合わせて日々精励しています」と語っていた小野社長。その言葉からは、「人々の安心・安全な営みを守るために」という志を共にして励む仲間を、心から信頼し、大事にしていることが窺えた。きっと、そんな篤実な社長の思いや期待に応えたいという思いが、同社社員の力になっているのだろう。人々の笑顔や豊かで快適な暮らしを陰ながら支えている「サンテックス」は、一致団結という形容が相応しい企業である。

人に支えられて逆境を乗り越えた今、 自身が手を差し伸べる側に—

—オンリーワンの技術力やノウハウで人々の安心・安全な暮らしを下支えされているわけだ。ところで、小野社長はこれのお仕事一筋で経験を積んでこられた？

いえ、この仕事に就く前は医療器具メーカーで働いていました。そちらはタイに工場を持っていて半年ほど海外赴任し、帰国後は営業マンとして大阪に10年、金沢に2年、松本に1年と、色々な場所で仕事をする中で幅広い経験を蓄積しました。異業種であるこの業界にきたきっかけは、当社の前身である会社を経営していたおじの存在なんです。ある時、一緒にやらないかと声を掛けられ、仕事内容に興味を引かれたのと、元々ものづくりが好きだったこともあり転職を決意。しかし、それから十数年後に人生の大きな転機を迎えるとは、この時はまるで思いもせませんでした。

—差し支えなければ、その転機となった出来事をお聞かせいただいても？

おじの会社が今より16年前に倒産してしましまして、当時私は工場長だったので資金のことはおじが管理していたので、青天の霹靂でした。また、私が

COMPANY PROFILE

有限会社 サンテックス

茨城県常陸大宮市工業団地 641

URL : <https://www.suntex-iba.co.jp/>



小野 政樹 | 代表取締役 |



村野 武範 | ゲスト |



おじの保証人になっていたことから口座を差し押さえられてね。家も建てたばかりで、小学生の娘たちもいたので途方に暮れました。なけなしのお金で袋入りのラーメンを買って、二杯のラーメンを家族4人で分けていたんですよ……。ただ、そんな状況に悲観して、嘆き悲しんだところで決して好転しません。それに、社員もいましたから私がしっかりせねばと思い、独学で経営のことを学んで、当社を立ち上げたのです。また、私は人に恵まれてまして、当時お付き合いのあった会社の生産本部長が「仕事はあるのだから会社を興して事業を継続すれば良い」と私を鼓舞して下さったり、立ち上げ資金を立て替えて下さる方がいらしたりなど、窮地において手を差し伸べて下さる人が周りにいたんです。本当にありがたかったですね。

—きっと、逆境において決して屈することなく、奮起して立ち上がり、道を切り拓こうとした社長の覚悟に、皆さん心を動かされたのでしょうか。起業後は順調に歩むことができましたか。

仕事内容は変わりませんし、ありがたいことに先ほど話した通り、お仕事を下さる方もいましたので、何とか進めていきました。これまでを振り返ると、色々

な人に助けていただいて今があると実感しています。また、私は小さいころから親に「他人のためになる、手助けできる人間になれ。そのためには自分に『心のゆとり』がなければならない」と言われて育って来ました。今まで逆風にさらされたこともありましたが、そんな親の教えを守って歩み続けてきたんです。

そうして人生経験を深める中では、先ほど述べた親の教えを身を以て痛感してきましたし、今は支えて下さった人々への恩返しをしていきたいという気持ちが強いんです。ですからこの先は、人とのつながりへの感謝と恩義を念頭に、ご縁のあった人が大変な思いをされていたら迷わず手を差し伸べ、私ができることで力を尽くしたいと思っています。それに、そうした思いが私の日々の原動力にもなっています。

—人に支えられての今だからこそ今後は社長が困っている誰かを支え、その明るい未来を照らす一助になりたいと。なんと篤実なお方でしょう。さて、お話は尽きないのですが、最後に今後の展望を。

共に逆境を乗り越えてきた社員もいますし、皆には感謝しています。だから、共に励んできた仲間が今まで以上に、やり甲斐を持って働ける職場環境にしていきたいと思っています。飛躍的な発展や急激な売上への伸張などは求めていません。堅実な経営を続けて、事業を継続させていければと。会社を興すのは簡単ですが、継続は本当に難しい。それでも当社は皆で力を合わせてこのように堅調に歩めているので、皆の努力が報われるよう利益を社員に還元し、皆で今以上に豊かになっていきたいと思っています。

(取材 / 2017年10月)

After the Interview

「小野社長の半生を伺いましたが、常人なら心が折れてもおかしくないシーンがいくつもありました。それでも、『悲観しても、誰かや何かに八つ当たりしても、状況は変わらない』と前だけを見て歩み続けてこられた社長。その強靱な精神力には感服致しましたし、そんな社長だからこそ、多くの人とのつながりに恵まれ、堅調に事業を進めておられるのだろうと感じました。今後も、社長らしさを大事に歩み続け、人の輪を広げ続けてほしいですね！」

